

授業者

HRT 佐藤 秀樹

ALT デボラ 増井

6年2組 教室

1 単元名 School Information ～for Treasure Hunt～

2 授業構成

(1) 教師と教材

本校の英会話の学習は3年生から始まるが、4年生からは、その後3年間を見据えた学習を展開している。6年生の学習は、スパイラルに高めてきた最高点(culmination)として位置づく。4年生での学習ポイント Numbers, 5年生での学習ポイント Personal Information で、住所、電話番号、年齢、身体測定結果、きょうだいの人数など数字に関わった学習内容を少しずつレベルアップしながら幅を広げて展開してきた。今年に入ってからは、あいさつの中に数字を取り入れて使う場面を増やしている。具体的には、住所、電話番号、年齢など、数字を含んだ答えを Wh-/Do you questions から引き出すようにした。また、教室にある物、教科を英語で表すことを考え、さらに場所、方向などを表す in/on/under/next to/between を導入した。そして、Where's the ～?と組み合わせて受け答えができるように学習している。どの内容も児童の生活により身近で利用価値の高いものを教材の配列として取り入れている。日付や曜日、動作を表す言葉なども少しずつ1単位時間の中に組み込み、「無理なく・楽しく・繰り返し」ができるように配慮している。本単元は、最終目的である Treasure Hunt に向けて School Information の内容を高める段階である。これまでの学びを生かしながら少しずつレベルアップし、新しい表現と関連させて使うなど、子どもたちがゲームで楽しく学ぶ中にも、学びの質が高まるように構成している。

(2) 子どもと教師

本学級の児童は、英会話の学習を始めて4年目(中学年20時間、高学年40時間)。ALT のデビー先生と JTE の秀坂先生と隔週で英会話学習を行っている。デビー先生とのやりとりは、基本的に英語のみで行い、コミュニケーション活動の一つとして大切にしている。しかし、児童の実態として、英語に対して前向きな取り組みを見せる児童と苦手意識をもつ児童の意欲の差が大きい。そのため、HRT の役割として、個別にデビー先生の話伝え、活動を支援する必要がある。毎時の授業構成も会話の中から聞き取れる単語が増えるよう、できるだけ同じ単語が繰り返し登場するように配慮している。また、Introduction で新しい事柄が入る時には日本語で補足し、安心感も持たせている。英会話の時間は、子どもたちの意欲が継続するように、子どもたちを受け入れ、ほめることを大切にしている。高学年になるに従って声が弱くなり、英語での音声も出にくくなる傾向にあるため、進んで自分からコミュニケーション活動を行えるようにグループやペアでの活動で教師が関わり、自信を持たせることも大切だと考える。間違いを気にせずに出せるように、リラックスした場をつくり、しっかり声が出せるような授業展開を行うようにしている。本時では、カードを手がかりに一人一人が発言する機会を均等に持ち、学んだ内容を活用できるようにしている。異文化について学ぶという意味で、日本語と英語では異なる部分にも触れている。例えば、動きを表す言葉の学習では、スポーツによって play ～/do ～と変わるのはなぜだろうという疑問に対し、意味やイメージを大切にしつつ違いを伝えてきた。

(3) 子どもと教材

本時扱う School Information では、単語についても日常生活で触れることが多いものを取り入れている。日付、学校の中や教室にある物、冷蔵庫の中の物は、生活の中でも触れる頻度が高い。はじめは聞き慣れないため発音などもつかみにくいようだったが、かなり語彙としても増えてきている。聞くだけでなく、後で見ても意識できるように教室掲示などにも登場した単語を掲示するようにしている。どの活動でも、コミュニケーションの基本である相手と関わることを取り入れ、自分と聞き手(ペア・グループ・チームで)を意識し、自分の持っている力で関わりをもととする意欲を高めるようにしたい。聞いて理解すること、英語を介して自分の伝えたいことを話し、関わろうとする姿を

期待している。本時もこれまで通り **Greeting, Warm Up, Review** と、短い活動を繰り返し行うことで学習内容を無理なく繰り返すことが可能になっている。「もう少ししたい」という気持ちを残し、次回も行うようにすることで意識の連続性が作り出せるようにしている。**Warm Up** では、「月 (Month)」の表現を意識できるようにしている。現代日本語では、1, 2のように数字として月をとらえる方が主流であるため、**January** から1月をイメージしにくい、日本語にも睦月、如月などの言い方があることも話し、ゲームをしながら繰り返すとらえられるようにしていく。冷蔵庫を取り上げた学習では、序数 (1st/2nd/3rd/4th/5th) を用いながら場所を指し示す **in/on/next to/between** を加えて使えるようにしていく。**Where is/are the ~?**の表現を聞き取って答える形で行い、**Treasure Hunt** でも登場する「どこ？」に対応する答え方を自然につかめるようにしている。後半の **Let's ~. Game** では、様々な場所、動きが登場する。前期までの学習で扱った動きを表す言葉や場所の言い方を思い出しながら、誘う時の言い方 **Let's ~.**と組み合わせていく。児童が使うカードには文字が登場するが、3年生から少しずつ行ってきたフォニックスの学習を生かして文字から音声へつなげる手がかりとして扱う。したがって、カードの内容が分からない場合は、先生やグループの人に尋ねたり、教え合ったりしてどんどん関わるように促すようにする。また、断る時の **Sorry, I can't. I'm busy.**という表現のよさは、**No.**という表現と違って相手の気持ちのことも考えた言い方で、「柔らかく断る」という感覚で学習している。実際のゲームの中でも身振り、表情などとあわせて表現できるように声をかけるようにしたい。また、本時の学習が **Treasure Hunt** のどんな場面とつながっていくのかを知らせることで、今回学んだ表現をどのように使うのかをイメージできるようにし、次の単元への意欲を高めていきたい。

3 単元の目標

- ・場所、方向、誘い方 (断り方) などの言い方をゲームを通して慣れ、**Treasure Hunt** で活用しようとする意欲を高める。

4 学習計画 (全9時間)

School Information (4時間)

第1時 Activity1: Review Refrigerator

第2時 Activity2: Practice "Let's ~."cards

第3時 Activity3: Usage "Let's ~." Invitation Game (本時)

第4時 Activity4: Preview School Information (school rooms)

Treasure Hunt (5時間)

5 本時の学習について

(1) 本時の目標

- ・日付、場所、方向の表し方を進んで聞いたり言ったりしようとする。
- ・**Let's ~.**を使った誘い方に親しみ、ゲームの中で活用することを通して表現に慣れる。

(2) 期待される児童の様相

- ・自分の伝えたい内容が伝わるように、相手の様子を見ながら話をする。
- ・友達と教え合いながら英語を使ってゲームを楽しもうとする。

(3) 本時の展開 (○教師の意図 ◇全体への支援 ◆個への支援)

学 習 活 動	教師の支援・意図
<p>1. Greeting 教室内を移動して、3人の友達とあいさつを交わす。あいさつをし終えたら座る。 ☆ Hi. ★ Hi. ☆ How are you? ★ <u>Pretty good</u>, thank you. And you? ☆ <u>Pretty good</u>, too.</p>	<p>○月ごとに使うフレーズを決めることで、様々なあいさつのパターンが活用できるようにする。 ◇コミュニケーションの場として、同じフレーズでも相手の様子によって合わせていくようにする。 ◆11月は、Pretty good を用いてあいさつをす</p>

- (★ Any news? ☆..... And you?)
 ☆ Take care. Bye. ★ You, too. Bye.

2. Warm Up

①行事や特定の日に応じた日付を答える

- ALT: Say the Date

ie. When's Christmas?

- December 25th.

When's New Years Day?

- January 1st.

②行事や特定の日の「月」を当てるゲームをする。

(Devide 2 groups) Month of the year

- ALT: Give a hint

ie. Christmas - December

Mother's Day - May

Halloween - October

No holiday - June

Volunteers: listen the day.

Pick up the correct sheet and put into the brank.

3. Review Refrigerator

ワークシートを用いて冷蔵庫の中にある物を覚え、どこに何があるのかを伝える。

① Can you remember?

- How many items/shelves are there in/on/.....

(in the refrigerator, on the 3rd shelf, on the door)

② Where's the.....? / Where are the.....?

- Where is the mustard ?

- It's on the 3rd shelf next to chicken.

③ Pair work: Practice asking questions

4. The Invitation Game Board (Let's ~. Game)

Let's ~.のカードとボードを使ってすごろくをすることを確かめ、ゲームをする。

指示と断る時の言い方を簡単にふり返る。

- Sorry, I can't. I'm busy.

- Invite the person on your... right/left

Invite everyone.

☆ Let's ~

- go to the ...

zoo, theatre, museum, park, cinema, library

- play... cards, football, tennis

- go ... swimming, shopping

- ...do homework, have lunch

have a Coke, watch television

ること、Any news?などを加えてもよいことを加えながら会話を促す。

○日常生活で活用する日付の言い方や行事、特定の言い方について親しめるようにする。

◇ ALT が言っている日を繰り返し、言い方について意識できるようにする。

◆できるだけ多くの児童が前に出てチャレンジするように促す。

○冷蔵庫の中の物の名前を言ったり、物のある場所の言い方 in/on/next to/betwee に親しんだりできるようにする。

○短い質問を用いながら、物の場所についての表現方法をつかめるようにする。

◆ペアでできるだけたくさん物を答えられるように物の名前や場所の言い方で困っていたら掲示物などを用いて言い方をつかめるようにする。

○今回は、カードだけでなく、ゲームボードを使ってすごろくのようにマークを動かしながら相手を誘っていくことを確認し、ゲームの仕方がつかめているかを確認する。

◇お互いにカードの指示に従って誘うこと、断る時の言い方を確認する。

○「右の人」、「左の人」、「みんな」など誘う相手を確認することを通して「右」、「左」、「みんな」などの言葉に慣れさせる。

○誘うときの言い方 Let's ~.の「~」の部分に様々な言い方を入れることができることを感じとらせる。

◆文字については、手がかりとする程度で、分からなければ、班の友達に言い方を聞いたり、先生に尋ねたりすればよいことを伝える。

◆グループをまわりながら一人ずつ発話できているか確認する。